

(ボランティアを希望する学生のみなさんへ)

神戸大学遠野ボランティアバス派遣 (4/30~5/8) について

神戸大学学生ボランティア支援室

藤室 玲治

【背景と概要】

現在、岩手県遠野市にボランティアバス 1 台 (大型) を派遣する計画をすすめております。現地の受入団体は「遠野まごころネット」(遠野市・遠野市社会福祉協議会・JC・地元 NPO などのネットワーク) が引き受けて下さいます。

岩手県遠野市そのものは内陸に位置し、東日本大震災で大きな被害を受けておりませんが、そこを宿泊などの拠点とします。そこから甚大な被害を受けた海岸部の各自治体 (宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市) に移動し、以下のボランティア活動を行う予定です。

- ・使える家の片づけ作業 (個人宅など)
- ・心のケアを目的とした各種事業 (足湯・タオルでまけないゾウ作成等)

現在、沿岸部の各自治体では、甚大な被害に対しボランティア活動などに従事する人手が圧倒的に不足しております。特に岩手県については首都圏などから離れていることもあり、人手不足は深刻です。ここに阪神・淡路大震災の被災地である神戸大学よりボランティアバスを派遣することには、作業の面においても、また被災者へのメッセージとしても非常に大きな意味があります。

また神戸大学学生ボランティア支援室の運営委員である村井雅清氏が代表を務める神戸の代表的な災害 NGO である「被災地 NGO 協働センター」が「遠野まごころネット」のアドバイザーとして入っており、今回の事業を支援していただけます。

さらに、学内の公認課外活動団体である「神戸大学学生震災救援隊」の学生 2 名が、既に 3 月中に遠野市におもむき、被災地 NGO 協働センタースタッフとともに足湯ボランティア活動の講習会で講師などを務めています。そのつながりも活かします。

今回のバス派遣は、神戸大学学生ボランティア支援室と神戸大学学生震災救援隊が合同で企画実施するもので、被災地 NGO 協働センターと遠野まごころネットのご支援・ご協力をいただいております。

【参加者数】

最大 28 名 (行きのバス 22 名、その他現地合流など 6 名)

内、神戸大学生が 23 名。教員 3 名。協力者 (社会人ボランティア) 2 名。

【日程】

4 月 30 日 (土) 17:00 出発 ~ 5 月 8 日 (日) 12:00 神戸着

移動手段: 大型バス 1 台 (定員 43 名・運転手 2 名) に学生 22 名搭乗+教員 1 名。

移動中、車中泊があるため定員 43 名のバスに半分搭乗

4 月 30 日

16:00 神戸大学学生ボランティア支援室 (国際文化学部 D 棟裏) 集合

直前のブリーフィングをします。

持っていく物品などをバスに搬入します。

夕御飯の時間が遅くなる可能性があるので集合までに軽食を取るか、バスの中で食べられる物をご持参下さい。

17:00 バスに乗り込み出発

5月1日

11:00 岩手県遠野市に到着

この日は先遣隊(4月24日に先行している組)と合流、状況などを確認します。

次の日以降の動き方・班分けを行います。

5月2日～6日

6:30 起床(朝ご飯は簡単にパン食など予定)

7:30 社会福祉協議会着

8:00 3班に分かれ、大槌町・陸前高田市などにバスか現地の自動車移動

9:00～10:00 現地で作業(泥出しなど)ないし避難所訪問(足湯など)開始

15:00～16:00 作業を終了し、遠野に戻る

17:00 遠野市に帰還。場合によってはその後、入浴など

18:30 ボランティアセンターでミーティング。各班のリーダーは出席

5月7日

18:00 岩手県遠野市を出発(この日の動きは未定)

5月8日

12:00 神戸大学国際文化学部キャンパス着

物品の片付けなどします。

12:30 解散

【宿泊】

学生・教員は日本財団 ROAD プロジェクトが遠野市に設置したプレハブにて宿泊(男女分泊・6泊7日)。5月6日の晩のみ、全員が体育館で宿泊。

救援物資の毛布のみあり。**必ず寝袋を持参すること。**

現地は想像以上に寒いので、ヒートテックの下着など奨励。

プレハブであれば簡単な炊事など可能。洗濯も可能だが、混み合う可能性あり。

入浴施設はないが、銭湯・温泉など利用の予定。

【持ち物と服装】

大学で用意するもの

防塵マスク(1日1枚) 軍手 ヘルメット

各自に用意してもらうもの

・必須

寝袋 (寝具はないので必ず必要です)

作業着 (ヘドロ出しなどの作業ではドロドロになります)

着替え (洗濯は思う通りにできないので多目に)

長靴 (つま先がガードされている「安全靴」がベストです)
タオル (1枚では足りません。何枚か用意していきましょう)
カッパ (雨天時の作業は中止になりますが、現場での降雨に備えて)
ゴム手袋 (洗い物、片づけなどに威力を発揮)
上履きかスリッパ (体育館での宿泊に使用)
水筒 (作業中の水分補給に)
携帯電話充電器 (携帯電話が使えないと連絡が困難です。必須です)

・奨励

食料 (朝・昼・夕ご飯は現地で確保できますので、作業時に塩分・糖分など補給できる塩飴などをご持参下さい)
皮手袋 (軍手はすぐにドロドロになり破けるので、皮手袋がお勧め)
ゴーグル (ホコリが目に入るのを防ぎます)
懐中電灯 (夜間の作業はありませんが、遠野市に帰った後に便利です)
たわし (作業着にこびりついたしつこい汚れが落とせます)

【食費】

毎日の食費について、必要に応じてお弁当など手配する予定です (1食 500円程度)。現地で必要な食費は各自の負担になります。移動中のサービスエリアなどでの食事も各自負担をお願いします。

1日高めに想定して 1,500円程度、9日間では高めに見積もり 15,000円程度ご用意下さい。

【入浴費】

銭湯・温泉などの利用には費用がかかります。6泊分すべて入浴すると想定すると 3,000円程度あれば大丈夫と思われます。

【宿泊費】

プレハブに 5泊しますが、その費用 1泊 500円、5泊で 2,500円をご負担下さい。バスに乗り込む際に徴収します。

【ボランティア保険】

兵庫県の「天災ボランティア保険」830円の費用をご負担下さい。バスに乗り込む際に徴収します。

【費用負担】

宿泊費 2500円+保険代 830円=3330円 (バスに乗り込む際徴収。お釣りの無いようにお願いします)

食費 15,000円程度、入浴費 3,000円程度

(その他、雑貨など購入の可能性もあるので 2万円程度持っていくと良いでしょう)

【引率担当者連絡先など】

引率担当者：藤室玲治 (ふじむろ れいじ)

神戸大学学生ボランティア支援室コーディネーター TEL：078-803-6256

※このボランティアバスについては、「神戸大学基金」の支援を受けております。